



渚滑っ子

学校 HP コード



学校教育目標

「夢に向かって学び続ける子どもの育成」

令和 8 年 4 月 2 4 日発行

文責：校長 加藤 将義

夢に向かって学び続ける子ども

4 月 6 日に始業式・入学式を行いました。今年度は 3 名の新入生を迎え、全校児童 19 名でスタートしました。来年度、渚滑小学校は中学校と一つになり、義務教育学校へと生まれ変わる大きな節目を迎えます。新しい形の学校に向けて大きな一步を踏み出す今年、本校の目指す教育目標も、渚滑中学校と共通で「夢に向かって学び続ける子どもの育成」と新しくなりました。児童が自ら考え、未来を切り拓いていけるよう、教職員一同、愛情をもって教育にあたります。学校と家庭・地域が手を取り合い、健やかな成長を支えてまいりたいと考えておりますので、今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入学式で伝えたこと（一部抜粋）

一つ目は、「『やってみたい！』を大切にすることです。「文字を上手に書きたい」「足し算をしてみたい」。そんな皆さんのやりたい気持ちは、大切な「夢」の始まりです。失敗しても大丈夫です。勇気を出して、いろいろなことに挑戦して、自分をどんどん伸ばしていきましょう。

二つ目は、「自分から挨拶をする」ことです。この学校には「挨拶」と「優しさ」という素敵な伝統があります。自分から声をかけて、お友達や先生とたくさん仲良くなってください。

三つ目は、「自分の命を大事にしてほしい」です。交通ルールをしっかり守りましょう。困ったときは、いつでも先生や周りの大人に教えてくださいね。

「自分を伸ばし 明日を創る子」

前述した新しい学校教育目標を焦点化する、今年度の重点教育目標は、

「自分を伸ばし 明日を創る子 ～自己決定しながら、未来の自分を創る～」です。

この目標を達成し、深い学びを持続していく自主性を養うために、3つの観点を大切にして教育活動を進めてまいります。最近の学校での子どもたちの具体的な姿とともにご紹介します。

○問いをもって学び続ける力（自己決定し、探究する姿）

1 年生を迎える会に向けた遊び考える児童の話し合いでは、「1 年生が楽しめるために」という目的のもと、「鬼が多すぎると楽しめない」「先生も入れた方が仲良くなれる」など、「だって（なぜなら）」と理由をつけて対話し、自分たちでゴールに向かい自己決定していく素晴らしい姿が見られました。

○仲間と語り合う力（伝統を大切にし、思いやる姿）

本校が大切にしてきた「挨拶」や「優しさ」の伝統が光っています。寒い朝でも元気にハイタッチしながら挨拶する姿や、「さようなら」「ありがとう！」という声かけなど、思いやりに溢れた挨

搦が子ども同士も、先生たちも溢れています。休み時間の体育館でも、先生たちと一緒にスポーツを楽しむ温かい交流が生まれています。

○日常生活につなげる力（「なぜ」を考え、実践する姿）

「言われたからやる」のではなく、目的（なぜやるのか）を理解した行動が育っています。入学式では、「1年生が安心するから」と自分たちで考えて立派な姿勢で整列しました。また、図書室を利用した児童も、「使わせてもらったから」と自ら理由を考え、司書の先生にしっかりとお礼を伝えられました。

これらの本校の良さをさらに継続して伸ばすべく、教職員が一丸となった意図的な指導を行います。この「目指す子供の姿」をご家庭や地域と共有させていただき、学校・家庭・地域が手を取り合って、お子様の健やかな成長を支えてまいりたいと考えております。

今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新しい職員の紹介

校長 加藤 将義（かとう まさよし）
斜里町立斜里小学校より
教頭 越智 麻矢（おち まや）
紋別市立潮見小学校より
養護教諭 藤井 美羽（ふじい みう）
新採用
支援員 渋谷 茉弥（しぶや まや）
昨年度本校学習サポーター
学習サポーター 増地 行雄（ますち ゆきお）
潮見小学校と兼務

5月の主な行事予定

1日（金）全校朝会
7日（木）hyper-QU 実施日
8日（金）避難生活訓練
12日（火）外清掃、尿検査
22日（金）集団下校訓練
※スクールカレンダーから変更になっています。
26日（火）尿検査（二次）
30日（土）小中合同運動会

令和8年度職員紹介

校長	加藤 将義
教頭（1年担任）	越智 麻矢
3・4年担任	阿部 貴洋
5・6年担任	作田 健輔
なぎさ1（3・5年）	渡辺 美香
なぎさ2（2・6年）	菅原 陸
養護教諭	藤井 美羽
事務職員	嶋木 徹
公務補	杉山 淳一
支援員	渋谷 茉弥
学習サポーター	増地 行雄
学校図書館司書	門井 里香子
ALT	テス

渚学園キャラクター

R9年度「渚学園」として新たな一歩を踏み出すこととなりますが、それを象徴するキャラクターをつくりたいという先生たちから下のデザインが生まれました。それぞれの校章から着想を得ています。

